

個別事業計画書

所管部署：教育委員会 学校教育課

(単位:千円)

事業名	外国語活動実践研究事業	細事業名		新継区分	継続事業	
総合振興計画の位置づけ	第1章 生涯充実して暮らせる都市を創る	根拠法令等				
	2 明日を担い、内外で活躍するひとを育てる					
	(2) 学校教育の充実					
事業計画期間	平成 22 年度 ～ 平成 22 年度	各計画年度ごとの事業概要と目標・事業費	年度	当該年度における事業の実施内容	当該年度に目指す成果・効果	事業費
現状の課題	今年度から、全国の小学校5・6年生に配布された「英語ノート」を活用して授業を進めて行くことになるが、各校で指導方法にばらつきがあるのが現状である。23年度の本格実施までに効果的な活用方法を探る必要がある。		平成21年度 予算現額			370
			平成22年度	胡麻郷小学校を実践研究校として指定し、スーパーバイザーによる授業指導、職員研修、先進地視察を実施する。	市版の指導案集と英語ノートを関連付けた効果的な活用方法を明確にする。研究発表会を開催し、指導力を高める機会を提供する。	370
			平成23年度			0
			平成24年度			0
具体的な実施内容	胡麻郷小学校を実践研究校として指定し、スーパーバイザーによる授業指導、職員研修、先進地視察を実施する。また、ALTを活用しながら授業実践を進め、学級担任主導のチームティーチングの在り方や評価方法を明確にしていく。年度末には研究発表会を開催し、市内外の教職員に指導力を高める機会を提供する。					
事業の目的	小学校における外国語活動の円滑な導入を図るため、「英語ノート」等の教材の効果的な活用方法をはじめ、評価の在り方等について実践的な取組を推進するものである。					
事業の効果	平成23年度からの本格実施に先駆けて、実践的な取組を推進することにより、地域全体の水準の向上を図ることが出来る。					